

2004年  
12月 No.266

SINCE 1977

発行所／〒380-0813 長野市緑町1714-5  
長野市ボランティアセンター内  
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513  
<http://www.vnetnagano.or.jp>  
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

# ボランティア かわらばん

編集発行 ながのボランティアかわらばん編集委員会



新潟中越地震支援のため、長野市ボランティアセンターでもボランティアの動きができました。多くの機関、組織、個人がそれぞれできることを生かして協働し、今回の災害支援活動ができました。協力してくださった企業、ボランティアグループ、また個人のボランティアの方に今回の災害支援のそれぞれの立場での動きと想いをうかがいました。

# ネットワークが大きくな れたり揮した



## 災害委員会の動き

10/23 新潟県中越地方で大規模な地震が発生。（本震7・以降長期にわたって）

10/24 各地の被害状況が明らかになる。

10/25 今年の春、立ち上がった長野市ボランティア連絡協議会災害支援委員会が救援活動を検討開始。ボランティアセンターでは、現地の情報収集をしつつ阪神大震災のときの支援関連機関に連絡をとり、新潟支援について

て様子をうかがう。

10/26 十日町市災害救援ボランティアセンターと連絡をとつて救援場所を決定。長野市の車両の手続きをしつつ長野市ボランティア連絡協議会災害支援委員会と長野市社協、支援企業、長野市で救援活動内容についての打合せ。

災害地の状況と被災者からのニーズにより、あたたかい食事の提供“から炊き出しに決める。

メニューは“すいとん”と“おにぎり”。炊き出しのための物資、機材を千曲福祉センターと新潟燃支援企業での打ち合わせ。

10/27 現地の状況を隨時確認 炊き出しのメンバーを募り、炊き出し準備が始まる。

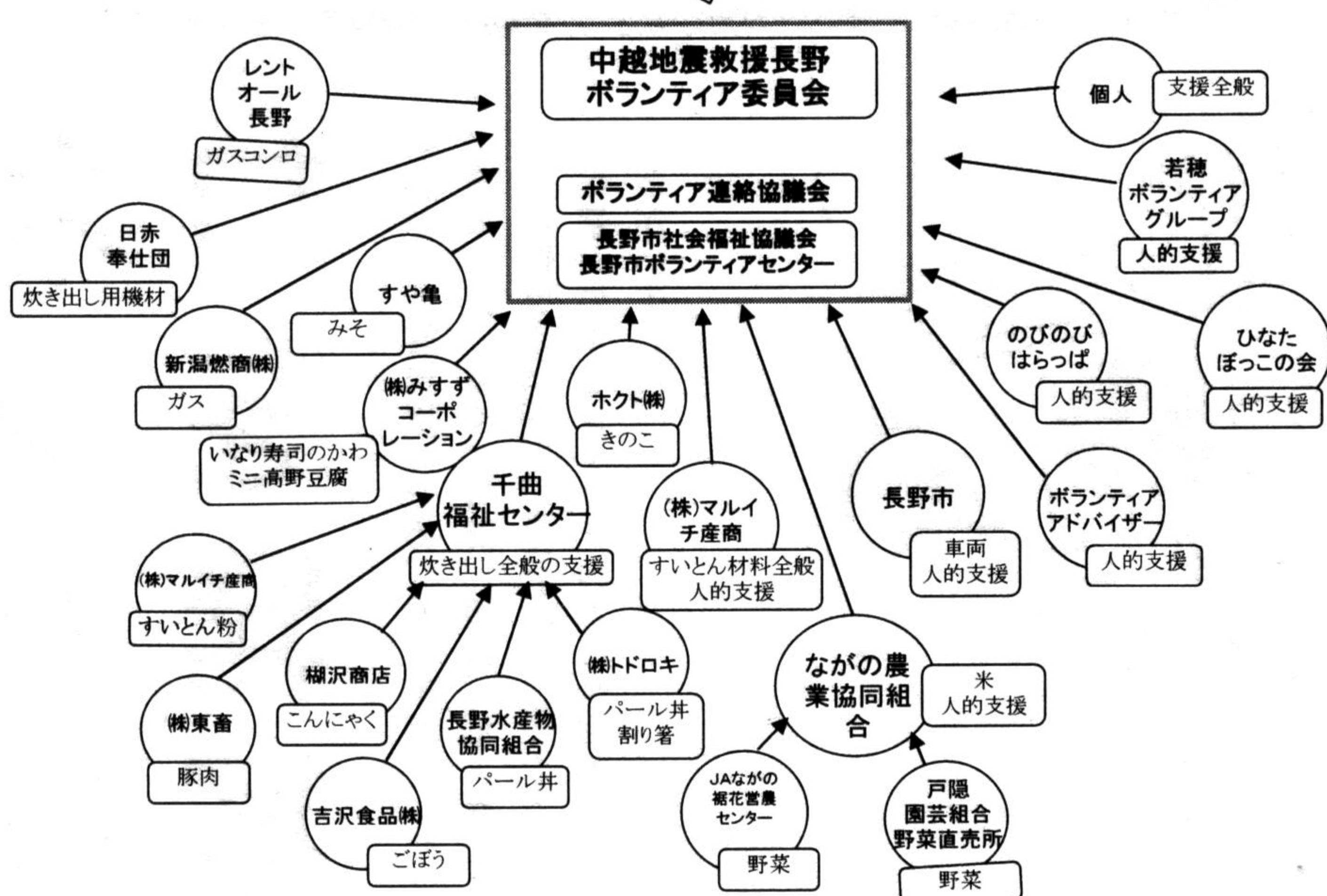
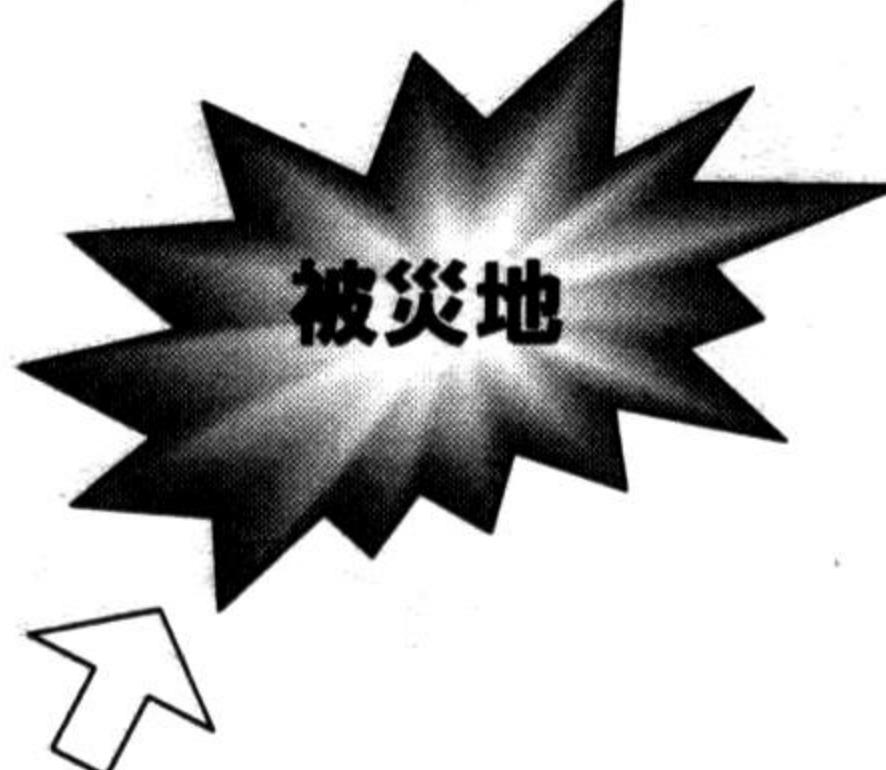
ボランティアセンターでは準備ボランティアが水の確保や機材の用意をする。



V連、企業、社協で炊き出しについて打ち合わせをする。

10/28

午前5時30分ふれあい福祉センター出発。8時45分に十日町市下条中学校到着すいとん500食、おにぎり200食。



10/29

十日町市はすでにライフラインが復興して被災者は自宅に帰っているので炊き出しの救援活動は募り場所を十日町市決定。

次回の救援活動について検討。

十日町市はすでにライフラインが復興して被災者は自宅に帰っているので炊き出しの救援活動は募り場所を十日町市決定。

集していないとのこと。小千谷市か川口町の方で炊き出しを求めるとの情報を提供されたため、問い合わせる。お願いしますと

小千谷市災害ボランティアセンターに問い合わせる。お願いしますといわれ11月3日の実施が決まる。

小千谷市災害ボランティアセンターに、プロパンガスは新潟燃商に提供していただくよう依頼。

11/1

現地情報を確認。交通網も小千谷市に入ることを確認。炊き出し場所は小千谷市上片貝小学校と決定。

11/2

3日の準備のため多くのボランティアがボランティアセンターで機材準備等を行う。

11/3

小千谷市上片貝小学校で炊き出しへによる救援活動を実施。すいとん400食、おにぎり400食。今後の救援活動について検討。5日は小千谷小学校、6日は吉谷小学校、7日は栄町公会堂となる。食材の切り込みは千曲福祉センター。食材はながの農業協同組合、マルイチ産商、みすずコー・ボレーシヨン、ホクト、プロパンガスについては新潟燃商に提供していただけたことになった。

5日からのすいとん提供の仕込みをボランティアセンターの調理室で、ボランティアグループ・個人のボランティアの方々が協力してくれたり毎日400人分のすいとんが用意できた。

11/4 中越地震死者39名に、住宅崩壊1万棟を超すと発表。

小千谷市、小千谷小学校で炊き出しによる救援活動を実施。すいとん500食、おにぎり300食。

11/5 高速道路長岡ICへ小出にまで通行できるようになる。

11/6 両陛下がお見舞い、災害2週が過ぎ被災者の心のケアが正念場になる。

小千谷市、吉谷小学校で炊き出し実施する。

すいとん400食、おにぎり400食。

11/7

小千谷市栄町公会堂で炊き出し実施。すいとん400食おにぎり400食。今後の救援について検討する。

11/8

災害救援ボランティア委員会で実施。すいとん400食おにぎり400食。今後の救援について検討する。

## 支援の動き



## 千曲福祉センター

千曲福祉センターは学校などの米飯給食等を取り扱っている厚生福祉事業協同組合です。まだボランティアという言葉が一般に知られていないかった松代群発地震の頃より、行政からの依頼で緊急救援活動を行っていたそうです。約10年前に発生した阪神大震災の時にも、長野の多くのボランティアと共に現地で炊き出しを行いました。そのノウハウをいかして今回も千曲福祉センターに



# いつもストリート



ゆたかな食と生活文化を創造する  
**マルイチ産商**  
http://www.maruichi.com

炊き出し全般に係わる食材や、それに必要な機材、人的支援など巾広く協力をいただきました。

新潟県中越地震を受けて、社内でも何かしたいという気持ちはありました。しかし、どう実行に移していくものかと考えていたところ、ボランティアセンターから連絡を受けたといいます。さっそく仕入れの担当者と相談をし出入口の業者に声をかけてみました。すると各業者が快く応じてくれ食材が集まり今回の支援につながったといいます。このような素早いコーディネート（調整）ができたのも、日頃から千曲福祉センターの出入り業者でつくる千曲協力会との良好な関係があつたためのようです。また食材だけでなく機材や人的なコーディネートが社内でスムーズに行なうことができたのも、地域に貢献しようという社内の意識が高く、すぐ動ける体制もできていたようです。

緊急時にはやるかやらないかという問題ではなくどのようにやればいいかを常に考えるようにしています。今後も創立以来培ってきた地域に貢献する精神を大切に食を提供する事業所として協力していきたいと話しています。

**Q 地震直後はどのような対応をされました？**

**A** 当社は総合食品流通企業ですから、物流の確保が重要です。そのために、まずは各地にある拠点の安全確認を怠りました。また、

その状況把握に努めました。その過程

で被災地の状況もある程度は把握することができました。また、マスコミ等を通じて現地の悲惨な状況を目撃していました。企業として何らかの支援が出来ないかと考えました。

**Q** 企業として災害支援に至るまでは？

**A** 企業として支援しようにも、初めはどう動いていいのか分かりませんでした。たまたま、ある別の事業に協力していた関係で長野市ボランティアセンターより支援の打診がありました。それを受けまして、今後の経営方針を決める「経営会議」に詰ったところ、トップの了解を得ることが出来、組織としての支援を行うことが決定したのです。

**Q** 具体的にどのような支援を行なったのですか？

**A** 当社は総合的に食品を扱っておりますから、食品の提供による支援が出来ます。当初は、ミネラルウォーターとインスタント食品の提供を計画していましたが、災害支援委員会が小千谷市での炊出しを行なうということで、「すいとん」を作るための具材（野菜・小麦粉・調味料等）を1200食分用意しました。また、現地の視察も兼ね、実際に職員も炊出しに参加しております。

**Q** 今回の支援は企業の社会貢献の一例だと思いますが、それについてどう思いますか？

**A** 当社には食品の流通を通しての社会貢献が経営理念としてあります。食品を扱うことは人命の根源に関することですから、社会性と責任を常に意識しなければ食品流通企業としての責務は果たせないと想っています。今回はこの理念を具体化したに過ぎません。今

## 新潟燃商株式会社

後も出来る限りの支援をしていくつもりです。  
取材／寺島

テレビなどで被災地の状況を見て、現地のみなさんに温かいものを食べて欲しいと思い、ガスボンベなど必要な機材一式を提供しました。みなさんおかげで成り立っているのが企業なので、できる限りのことはしたいと思います。



ながの農業協同組合

急な話でしたが、野菜や米について比較的スムーズに調整がきました。災害時は相互通助の精神、助け合いが基本になると思います。今後もできる限りの支援をしていきたいと考えています。また人間の支援についても、現地への職員派遣は、いろいろと経験をし、学び、今後に生かすという教育的要素も含まれます。以下は現地に支援に行つた職員のコメントです。ほんの小さなお手伝いでしたが『おいしかったよ。ありがとう』と言われ良かつたです。元通りの生活になるためには大変だと思います。これからも、募金などを通して、私にできる力を活かす方法はないかと考えています。ちょうどそこにボランティアセンターからすいとん作りのお願いの電話が。「これだったらできるのでは」と思った植本さんは早速、グループのメンバーに声をかけました。すいとん作りの依頼日前後は地元での活動もちらりと忙しく、はじめはどれくらいの人達が集まってくれるのか心配だったそう。しかし当日は6人が参加して、息の合った作業ですいとん作りもはかり、短時間で終えることができました。帰りの車の中では「温かいすいとんが、現地で困っている方々の力になつてくれる」と充実した気持ちになつ



## 若穂ボランティア グループ

植本さんは、今回の中越

地震で十日町、小千谷市への炊き出し準備、すいとん作りに参加しました。17年前から地元の若穂地区でボランティアグループをつくり活動をされている植本さん。現在も22名のお仲間と、高齢者施設でお年よりの話し相手をしたり、身障者施設の洗濯や掃除のお手伝いをしたりと、幅の広い活動に忙しい毎日を過ごしています。

今回の中越地震でも、何か自分たちの力を活かす方法はないかと考えています。ちょうどそこにボランティアセンターからすいとん作りのお願いの電話が。「これだったらできるのでは」と思った植本さんは早速、グループのメンバーに声をかけました。すいとん作りの依頼日前後は地元での活動もちらりと忙しく、はじめはどれくらいの人達が集まってくれるのか心配だったそう。しかし当日は6人が参加して、息の合った作業ですいとん作りもはかり、短時間で終えることができました。帰りの車の中では「温かいすいとんが、現地で困っている方々の力になつてくれる」と充実した気持ちになつ



# いつもストリート



**HOKO**  
The Kinoko Company

信州の味・香り／門前みそ  
**すやま**

参加した方たちは、地震のニュースを見て「何かをしたいけれども、現地に行くには現場の混乱や手続きのこともあり、実際には無理。ちょっとしたことで協力できることがないか」と思っていたそうです。橋本さんは「願わくば災害は起こつてほしくはない。けれど、もしもまた機会があれば、ぜひできる範囲で力になりたい」と頼もしく話をしてくださいました。急な依頼でも素早くメンバーをまとめ、作業にあたった橋本さん。チームワークの良さが活かされ大きな力が発揮できる、これは日頃からの息の合った活動の賜物です。

中越地震災害救援ボランティアのみなさま、お疲れさまでした。何かお役に立つ事ができればと思つていましたところ、お声をかけていただき、みなさまの一助になれば嬉しく思います。ボランティアのみなさまのご活躍を応援致します。

民間企業として、支援の初動スピードの重要性を痛感しました。救援活動情報が錯綜する中にあって、いま必要なことは何か、優先順位の中で最優先事項は何か、をいち早く察知し速やかに対応することが企業に求められていると考える。

取材／込山哲也

たとのことです。

参加した方たちは、地震のニュースを見て「何かをしたいけれども、現地に行

くには現場の混乱や手続きのこともあり、実際には無理。ちょっとしたことで協力できることがないか」と思っていたそうです。橋本さんは「願わくば災害は起こつてほしくはない。けれど、もしもまた機会があれば、ぜひできる範囲で力になりたい」と頼もしく話をしてくださいました。急な依頼でも素早くメンバーをまとめ、作業にあたった橋本さん。チームワークの良さが活かされ大きな力が発揮できる、これは日頃からの息の合った活動の賜物です。

取材／宮沢久美子

北澤さんは数多くのボラ活動に積極的に参加していたため、今回の地震災害への参加もいち早く決めました。十日町市、小千谷市と地元のボランティアセンターに被害状況を確認しどこまで車で行けるのか、いま本当に必要な物資は何かなど連絡を密に取り合い、10数名で焼き出しへ行きました。

避難所の状況は、食料に関してはパン、おにぎり、バナナやみかんといった、そのまま食べられる「冷たい食べ物」だけは確保されていました。このため体も心も温まる炊き出しがとても喜ばれました。また水が使えないでの風呂に入れず、水洗便所も使えない状況の中、体調の崩れやストレスを感じる方が多数見られました。

今回参加したボランティアは、「避

難所で最適な役割分担ができるコーディネーターが必要」と口を揃えて言つていました。ボランティアとして行く際には、自分に何が出切るかを先方に明確に伝え、現地では自給自足の生活ができる充分な準備が絶対必要です。それが出来ない方は日帰りボランティアをお勧めします。

現地では自給自足の生活ができる充分な準備が絶対必要です。それが出来ない方は日帰りボランティアをお勧めします。

一度災害地を訪れることが災害に対する意識を強くすることになります。隣県での今回の地震を、ぜひみなさんの自宅でもできる地震対策点検、災害時での家族連絡集合場所を改めて考え直す機会にしてほしいと思います。

**長野ボランティア委員会**  
北澤幸正さん（69）

## ボランティア 第36回

グループ名

### ぼろ織り「彩の会」

彩の会

彩の会は、1999年のぼろ織り教室のメンバー7名で200年に発足しました。現在のメンバーは18名です。ぼろ織りは、裂き織りとも言いますが、リサイクル品を使用していますので、あえてぼろ織りと言っています。古着、布団地、シーツ等を1cm巾程に裂いています。

紹介者 あやめ会

布を織り、ランチョンマット、コースター、カバンなどの作品作りをしています。作品は環境フェア以外ではまだ販売していません。月1回市リフレッシュユープラザで体験工房を開いています。今後は、糸りとも言いますが、リサイクル品を使用していますので、あえてぼろ織りと言っています。古着、布団地、シーツ等を1cm巾程に裂いています。

張りのボランティアなどをやつて

いきたいと考えています。



## グリーンノート

冬に楽しむ寄せ植え



この鉢は少し色を抑えすぎたかんじですが、まん中のパンジー・ブロンズシェードの花がもっと増えて華やかさが増すのを待ちましょう。

ハボタンやパンジー・ビオラの類はあまりにも定番過ぎて、率先しては植えていませんでした。今年は身近においてみようという気分。。園芸店をのぞいてみたら、キャベツのイメージの強いハボタンも切れ込みの深い葉が新鮮、パンジーなども色も形も実際に種類が豊富でうきうきしてきました。庭の増えすぎたアイビーを手前にちょっと加えて、さっそく植え込み。寒さに強い冬にも楽しめる鉢ができました。

グリーンクラブ 德永

庫刊。

## スタッフ日記

暖炉を囲みながらメンバーが語ってきた様々な話が座をにぎやかしてきた伝統あるクラブ。陳腐な話、怖い話、○○な話。そしてある

年のクリスマス直前に一人の老いた医師が『神が永遠に私の口を閉ざされる前に』語り終えた話。看護婦が化け物と呼んだそこに、医師は神が与え給もうた全ての力を見た。ステイー・キング著『スタンダード・バイ・ミー 恐怖の四季 秋冬編』

収録「マンハッタンの忌憚クラブ・冬の物語」新潮文庫

あやめ会

# 今年のコロンブス大賞が決定！



6月22日からスタートし

た第6回市民活動プロデューサー養成塾が11月18日（木）

活動発表の日を迎えました。

今年は昨年より少ない3グループによる発表でしたが、

発表グループのアイデアと個性が出て、和気あいあいとした中でプレゼンテーションが行わ

れ、1時間に及ぶ発表の後、審査が行われました。

甲乙つけ難い活動内容に審査員が悩んだ末、今年のコロンブス大賞は古牧地区からエントリーした”南高田ボランティア”に決りました。

審査をした内山二郎塾長は、「今年は”ご近所力”をテーマにプロデュー



サーケンだよい  
の中では、地域にいかに溶け込んで既存の組織と連携して活動を開拓するかが大きな課題となつた。本日活動発表をした3グループは地域の中に上手に入り込んで、それぞれの事業目的を実施出来ていた」と評しました。

来年は長野市も合併し、広域化すればする程、地域で発生する難しい課題をご近所の力で解決していくことが必要不可欠だといえます。

そのようなときに今回プロデューサー養成塾で培ったノウハウが活ける時が来るはずです。今後の皆さんの活躍を期待します。



# 長野市ボランティアセンター 11月の相談現場

市内中学校から福祉体験学習の相談がきました。

中学のある地区内の福祉マップを作ろうと思う。午前は障害者の方にお話をうかがい、午後の福祉マップづくりにつなげたい。午前の講師と午後のマップづくりのすすめ方について相談したい。

学生が自分の街のマップづくりをするのなら、ぜひその地区の方に入っていたらどうでしようか。

地区的動きに詳しい地区社協のコーディネーターに相談し、市ボランティアセンターと連携をとりながら進めたらどうでしようか。いくつかの相談をくり返しながら地区の方が集まつてくださいました。

民生員、老人連合、福祉自動車協力会員、ボランティアグループ、ボランティアアドバイザー、どの方も地区内で日頃から活動に活動している方々です。事前の打ち合わせで先生から説明をうけ、皆さんからも意見やアイデアをいただきました。さすが地元のことは地元の方に相談するのが一番とあらためて感心しました。

地元の方が関わることによって学生たちとつながり地域で子どもたちを育てる一助になるのではないかと思います。学校の授業のなかで、地域の方との出会いの時間ができます。多くの人と出会いながらさまざまなことを学んでいくような授業のお手伝いができるかもしれません。

## 食べるだけではもったいない!? レクリエーション講座 第2弾は芋煮会

11月18日(木)にふれあい福祉センターにて、「レクリエーション講座」の第2弾として、具材たっぷりの芋煮を食べながら、みんなで盛り上がるレクリエーションの極意について学びました。

今回の講座はただ調理したものを見るだけではありません。

4階の和室にはスタッフにより美味しく調理された芋煮が用意され、芋煮の食材(里芋・こんにゃく・ネギ・きのこ・牛肉)がそれぞれ書いてある5枚のカードを使って、全員が自己紹介をしながらジャンケンをし、勝った人から食べることが出来るレクリエーション芋煮をゲット!を行いました。食欲の恨みは恐ろしいもので、和やかな雰囲気はどこへやら、白熱した勝負になりました。その他にも「思い出の曲ビンゴ」、「迷句づくり」といったレクリエーションを織り交ぜながら、楽しく食事をしました。

**個・孤の時代**と言われるご時世ですが、人はどこかに「群れ遊びたい」気持ちがあるのではないでしょう。今回は美味しい芋煮とともに、みんなで盛り上がるコツも習得出来たようで、二度美味しい講座となりました。



## ボランティアセンター

6月22日からスタートし

た第6回市民活動プロデューサー養成塾が11月18日（木）

活動発表の日を迎えました。

今年は昨年より少ない3グループによる発表でしたが、

発表グループのアイデアと個性が出て、和気あいあいとした中でプレゼンテーションが行わ

れ、1時間に及ぶ発表の後、審査が行わ

れました。

甲乙つけ難い活動内容に審査員が悩んだ末、今年のコロンブス大賞は古牧地区からエントリーした”南高田ボランティア”に決りました。

審査をした内山二郎塾長は、「今年は”ご近所力”をテーマにプロデュー

相談件数	
ボランティアしたい	24 件
ボランティア求む	18 件
情報求む	27 件
ボランティア活動支援	10 件
ボランティア活動上の悩み	2 件
よろず相談・悩みごと	5 件
ボランティア保険・事故処理	2 件
その他	11 件
合計	99 件

問い合わせ件数	
会議室予約	295 件
伝言	237 件
情報提供	385 件
機材貸し出し	177 件
チラシ・掲示板	171 件
その他	398 件
受付(よりいい会等)	770 件
合計	2433 件

(取りまとめ期間:11月1日～11月30日)	
情報カード受付	46 件
機材貸し出し	39 件 355 ケ
ボランティア保険加入	
ボランティア活動保険	24 件
行事用保険	23 件
在宅福祉サービス総合保険	0 件
送迎サービス補償保険	0 件
合計	47 件



編み物ボランティア、  
見つかりました。

# 情報かわらばん

催し

年末だよ！全員集合！！

大掃除ですよ～

ボランティアセンターの大掃除を行います。皆のセンターをみんなで綺麗にしませんか？  
日時：12月18日（土）10:00～12:00  
場所：長野市ふれあい福祉センター1F

問：長野市ボランティアセンター  
TEL 026-227-3707

催し

骨髓バンク登録推進運動

命のつどい

いのちを救えるのはあなたかもしれない…。入場無料。



日時：12月19日（日）13:00開演  
場所：長野県民文化会館

問：NPO法人 いのちのつどい  
TEL 03-3393-6093

催し

長野県ボランティア・  
市民活動研究集会

新しい時代を迎えたボランティア・市民活動の現状と課題を学びあうため、長野市において開催致します。

日時：1月29日（土）～30日（日）  
問：長野県ボランティア・市民活動センター  
TEL 026-226-1882

催し

SOアスリート応援  
チャリティーイベント

冬季2005年、SO（スペシャルオリンピックス）長野大会に参加する長野のアスリートを応援するイベントです。

日 時：12月18日（土）10:00～13:10  
場 所：若里市民文化ホール  
参加費：¥1,000

問：SO長野・長野ファミリー委員会 小山  
TEL 090-6955-8882

催し

ダーリンは障害者  
お話し（V.O.1.3）

障害と恋愛をテーマに話し合う場。今回は障害者とのお付き合いについて。色々な立場からの体験談や希望、不安等聞かせて！

日 時：1月8日（土）15:30～17:30  
場 所：もんぜんぶら座302会議室  
参加費：¥500

問：Hands 寺山  
TEL/Fax 026-228-6966

催し

12月の  
月例情報市場

企業・NPO・ボランティアグループ相互の物品・資源・情報の交換会。参加費無料。どなたでもご参加できます。

日時：12月15日（水）15:30～17:00

場所：ふれあい福祉センター

問：ながのボランティア・市民活動支援  
ネットワーク TEL 026-227-3707

催し

精神保健福祉を  
考えるつどい

一人のエリート青年の「心の病」との壮絶な闘い。参加費無料。

日時：12月11日（土）13:00～

場所：中野市市民会館

問：中野市社会福祉協議会  
TEL 0269-26-3111

催し

つぼで家族の  
健康づくり

テーマ：「トイレ・台所・浴室の水まわりの上手な掃除の仕方」

講師：TOTO機器㈱商品技術担当  
佐々木覚氏

他「手の疲れに役立つ筋力アップ」と「つぼ」質疑応答・個別健康相談有

日時：12月20日（月）13:30～15:30  
場所：西部保健センター  
締切：12月18日（土） 参加費無料

問：鍼灸サポートヒトクリー21会 近藤  
TEL 026-228-8730

催し

第1回長野県学生  
ボランティア研究集会

本集会は上田地域の学生や20代のボランティアが企画、長野県内各地の仲間との出会いを期待して開催します。

日時：12月12日（日）10:00～16:00

場所：長野大学（上田市下之郷）

締切：11月末日

参加費：¥1,000



問：長野県ボランティア・市民活動振興  
センター  
TEL 026-226-1882

催し

福祉の職場  
説明会

福祉の職場への就職希望者・福祉の職場・職種・資格等について知りたい方対象。入場無料。

日時：12月13日（月）13:00～16:00  
場所：ホルプ エナビ タ（松本市）

問：長野県福祉人材研修センター  
TEL 026-226-7330

催し

クリスマスゴスペルコンサート  
「Swett Spirit」

入場無料。

日時：12月13日（月）18:30開演  
場所：八十二別館1Fロビー

問：(財)八十二文化財団 田中  
TEL 026-224-0511

催し

親子の遊び場づくり

子育て中の親子の為に何かしたいと考えている方、子育て仲間と遊び場を作ってみたい方対象。

日 時：1月15日（土）～29日（土）  
全4回講座（1回のみでも可）

場 所：ふれあい福祉センター  
もんぜんぶら座

内 容：「親の気持を受け止める  
為に」／「絵本の選び方」等

参加費：¥1,200

問：NPO法人ながのこどもの城  
いきいきプロジェクト  
TEL/Fax 026-225-5467

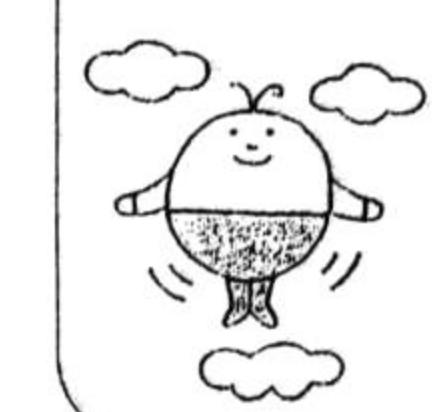
催し

ボランティアサロン  
アートフラッグ ムーブメントを作ろう

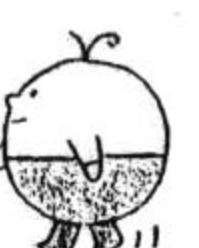
SO（スペシャルオリンピックス）を応援するアートフラッグ ムーブメントを作りませんか？白いシートに人型を写して周りを自分の感性で彩ります。参加費無料。障害の有無にかかわらずお子さんから大人の方までどなたでもご参加頂けます。

日時：12月12日（日）13:00～16:00

場所：コティネートラボ 長野  
(長野市川中島中学校向い)



問：長野市ボランティアセンター  
TEL 026-227-3707



# 情報かわらばん

## 情報 いつも傾聴 でんわ

なんでも気軽に電話  
ください

TEL 026-225-0404

月・土 14:00~18:00

水 14:00~21:00

問:長野市社会福祉  
協議会・長野市ボランティア  
センター

いつも傾聴でんわ係

TEL 026-227-3707

## 催し 出前講座 致します

人材育成・地域づくり  
に関する講座や「自分  
達で何か始めたい」「NP  
Oって何?」というよう  
な地域住民の方向け、  
或るいは市民活動団体  
との協働についての職  
員の方々向けの講座に  
ついてのお考えの際は、  
是非当センターへお声がけ  
ください。

問:長野県NPOセンター

TEL 026-269-0015

## 催し キャンドルカップを作りませんか

日時:応相談

場所:七瀬商店街



「街の駅」

参加費:¥600

問:夢工房 渡邊

TEL 026-228-6607

## 催し 小さな 朗読会

故古家絹江さんを偲んで  
開催します。入場無料。

日時:12月11日(土)

13:30~15:30

場所:ふれあい福祉センター

問:朗読の会なでしこ  
和田

TEL 026-263-9522

## 情報 2005年カレンダー発売中

B5版タイプ ¥300、二つ折りカレンダー ¥400 ご注文に応じて貴方の描いた絵や写真でオリジナルのカレンダー、絵葉書、カードの作成もOK! ふれあい福祉センター1Fふれあい喫茶及びもんぜんぶら座で発売中。

問:PCワークくらら 北郡

TEL 090-3585-6262

## 催し 介護福祉士受験のための勉強会

日 時:12月10・17日(金)

1月7・14・21日(金)

場 所:要問合せ

参加費:¥200

問:山田 TEL 080-1085-9107

## 情報 グリーンファームの会 「自然あそび広場」

日時:2月26日(土)

10:00~14:00

場所:グリーンファーム

(長野市川中島四ツ屋)

参加費:¥100

※お申込は下記事務所へFaxか葉書でお願いします。

問:ながのこどもの城  
いきいきプロジェクト

TEL 380-0837

長野市大字南長野新田町

1485-1 もんぜんぶら座こども広場 じゃん・けん・ぽん

Fax 026-223-0731

## 催し 台所ピッカ! 大掃除の仕方考えます

環境にも身体にも優しい石鹼や重曹で台所をピッカッカにしませんか?

日 時:12月13日(月)

10:00~12:00

場 所:ふれあい福祉センター

参加費:¥300/定員:30名

問:みどりの市民 渡辺

TEL 026-229-7731

## 情報

## 助成金情報

### ◆第2回「One by Oneアート」

困難な状況にありながら、努力を持って自分の可能性に挑戦し、輝かしい成果を遂げている子供と障害を持つ子供の為に活動し大きな成果をあげている非営利団体が対象。締切12月20日(月)

問:日本アムウェイ株式会社 社会貢献部

「One by Oneアート」事務局 TEL 03-5428-7960

### ◆障害者市民「防災まちづくりアドア・コンテスト」大募集!

障害者市民が突然の災害時においても安心して活動できるための、実践を始めた取り組み例、もしくは実現可能な事例であること。締切2005年2月28日(月)

問:NPO法人【ゆめ・風基金】事務局 TEL 06-6324-7702

### ◆第3回こども読書賞

子供の読書活動の推進者が対象。締切12月24日(金)

問:社会貢献支援団 TEL 03-3502-0910

## 情報

## FMぜんこうじ12月の出演者は?

毎週(木) 12:45~55<76.5MHz>

9日 長野県ボランティア・市民活動 振興センター 長峰氏  
長野県ボランティア交流集会 開催広報  
16日 HANDS 寺山氏/お話会及びアンケート調査について  
23日 交渉中  
30日はお休みさせて頂きます。



※出演者募集中です。ご連絡ください。

問:長野市ボランティアセンター TEL 026-227-3707

## 情報

## 今月の書籍紹介

### ◆「NPOと行政、協働の再構築」

NPOの役割を再検討し、協働の理論と実態・仕組み・システム化の課題を解明し、新しい協働への提言と再構築を試みた最新の書。定価¥1,429+税

問:NPOサポートセンター TEL 03-3547-3206

### ◆「みんなちがってみな同じ」

「福祉先進県」と呼ばれた滋賀県で戦後の社会福祉が未熟な時代から、常に利用者の立場に身をおき、福祉制度に息吹を吹き込んだ先駆者7名の実践の記録。定価¥1,575 発行:サンライズ出版 TEL 0749-22-0627

## 情報

## まごころ北堀の家

### 開所のお知らせ

お茶飲みサロンやフリマなど皆さんお気軽に集える場にしたいと思っています。開所日は12月15日(水)

開所時間:月~金12:00~14:00/参加費:¥500

場所:長野電鉄朝陽駅より徒歩7分

問:まごころ福祉サービス 山田 TEL 080-1085-9107

12月 ボランティア  
かわらばん  
No. 266

発行 ながのボランティアかわらばん編集委員会

求む!

出会いをつくる  
新鮮!! 情報紙

ボランティア

です!

発行所／〒380-0813 長野市緑町1714-5 長野市ボランティアセンター内  
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513 <http://www.vnetnagano.or.jp>  
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

求む 雪かきボランティア  
地域お助け隊

地域で暮らす高齢者や障害者が冬、一番困るのが『雪かき』です。誰もが安心して暮らせる長野市の実現に、貴方のお力を貸して下さい。

問:長野市ボランティアセンター  
TEL 026-227-3707

求む ボランティア  
コーチ求む

アスリート（6歳以上の知的発達障害者）と共にスキーを楽しみませんか？フロアホッケー・ボウリング・スケート、1月からはアルペンスキー、クロスカントリー、スノーシューイングがスタート！

問:スペシャルオリンピックス  
長野プログラム事務局 高木  
TEL 026-295-5349

求む 障害者の自立支援  
ボランティア

本クラブでは行事の中に一人で買い物をする、切符を買うといった自立訓練を組み込んできました。12月はかわくと温泉を楽しみに、1月は見損なった映画をビデオで見たい！僕達と一緒に街へ行きませんか？

問:ワークハウスちきり  
TEL 026-263-4059

求む アートフラッグ ムーブメントで使います  
スペシャルオリンピックス(SO)応援企画

知的ハンディのあるアスリートが、競うのではなくスキーを通じて自己表現を図るスペシャルオリンピックス(SO)をアートで応援するアートフラッグ ムーブメント。本企画で使用する洗濯済みのシーツ、アクリル絵の具、刷毛、ローラーがありましたらご提供をお願いします。

問:長野ボランティアセンター TEL 026-227-3707

求む

お手紙を書いて  
みませんか？

書くことが好き、誰かに手紙を出したい、誰かに聞いてほしいことがある方、配食サービスお弁当のお手紙書き、してみませんか？



問:高齢者ボランティア研究会 塚田

TEL 026-227-3030

(長野市社会福祉協議会地域福祉課内)

求む

牛乳パックの回収に  
ご協力ください

牛乳や酒パック、ジュースパック等、パック類ならなんでもOK!洗ってからお持ち下さい。

問:ワークハウスちきり TEL 026-263-4059

求む

障害と恋愛に関する  
アンケート協力者募集

18歳～60歳までの身体・精神障害者を対象に1月頃アンケート調査を予定しています。

ご協力いただける方はご一報下さい。

問:Hands 寺山 TEL/Fax 026-228-6966

お知らせ

○年末年始に伴い12月29日(水)

～1月3日(月)まで、ふれあい福祉センターは休館となります。

○次回かわらばんは1月11日(火)発行予定です。掲載希望団体は、12月20日(月)迄に原稿をお寄せ下さい。

長野市ボランティアセンター  
TEL 026-227-3707/Fax 224-1513  
vc103@vnetnagano.or.jp

求む

骨髓バンクPRイベントの  
お手伝いボランティア

骨髓バンク登録推進運動「命のつどい」を開催し、多くの人に骨髄移植・骨髄バンクの正しい知識を普及する為の活動を展開中。

日時：12月19日(日)

場所：長野県民文化会館

問:NPO法人命のつどい 村上  
TEL 03-3393-6093

情報

園長の何でも  
相談日

幼児期からの保育・教育・子育ての悩み等個別相談(複数も可)に応じます。参加費無料。

日時:月2回実施

問:長野県短期大学付属幼稚園  
近藤・青木  
TEL 026-232-4212

書き損じ葉書はありませんか?  
書き損じや余った年賀状等ご寄付ください。  
問:長野市ボランティアセンター TEL 026-227-3707/Fax 224-1513 長野市大字緑町1714-5 長野市ふれあい福祉センター1F

